

家

一瞬の閃光
すべて たたきつづす表現
言葉は爆発した！

物理学者は罪を知った
と

オッペンハイマーは
自らの悩みを語り
僕もまた

現在のおもみに迷い込む

Die Sprache ist das Haus des Seins.

(言葉は存在の家である)

十三日の金曜日―この安息の日に
眠れなくつろぎを求め

✂

は

知られぬまま壊れていく…

了

自己紹介 久保俊彦(くぼ としひこ)

1960年5月東京生まれ。幼少期、父の仕事の関
係で5年間、ソ連邦・モスクワに在住。

1984年4月大学を卒業し某大手化学会社勤務。
国内各地事業所勤務を経験。

社内公募で国立大学大学院後期課程中退。学術博士
(専門：高分子・レオロジー) 実家は東京も、自宅
は仙台(東日本大震災で甚大全半壊の被災) 京都在
住。

詩集『ベンヤミンの黒靴』(幻冬舎 二〇一七年)

所属 日本現代詩人会、横浜詩人協会「ぱれっと」

久保俊彦



【入会】

田中信爾・久保俊彦
たひらこうそろう・赤松遼・杉本知政・山本
美代子・味園史智郎・本多清子・登り山泰
至

【住所変更】

清水一郎 〒592-8334堺市西区浜寺石津町中
2丁1-37
香崎 萌 〒620-0832 福知山市池田61 西
田方
西崎 想 〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和
町5-9-6西岡方

【筆名変更】

和田実恵子→野原実恵子

《今後の予定》

詩の実作講座 いずれも午後6時〜9時

4月25日(土) 第455回

石原吉郎の詩 講師 藤谷恵一郎

5月23日(土) 第456回

詩人イーディス・シットウエルと作曲家ベンジャ
ミン・ブリテンのコラボ『なお雨が降る』

講師 寺沢京子

6月27日(土) 第457回

山本沖子詩集『花の木の椅子』『朝のいのり』か
ら 講師 吉田定一

なお、4月、5月は阿倍野ベルタ改装のため、場所
が変わります。大阪南森町③番出口を上がるとすぐ、
ギャラリーMAGです。6月からは阿倍野ベルタの市
民学習センターに戻ります。

日本詩人クラブ創立七〇周年記念関西大会

日時 5月9日 13時30分(受付13時)

場所 ホテルアウイーナ大阪

会費 一〇〇〇円 懇親会七〇〇〇円

一部講演 佐々木幹郎 詩と音楽―詩人が耳をひらく
とき―

二部鼎談 佐々木幹郎・倉橋健一・たかとう匡子

※コロナウイルス感染予防のため延期(8月8日)

もあり。参加申込者には変更の連絡をいたします。問
合せは事務局か神田さよさんへ

☎0798(53)0686

EARTH POEM PROJECT

詩の教室第26回

選定詩集 中尾彰秀第25詩集『万樹奏』

日時 4月12日(日) 午後2〜4時

場所 和歌山市本町NPOボランティアサロン

電話 073(402)1213

詩を朗読する詩人の会・風

午後2時30分

場所 ガットネロ

4月19日ゲスト 播磨カナコさん

5月17日ゲスト 未定

6月21日ゲスト 未定

「朗読表現・ぼえむの森」の発足

「朗読文化の会・あい」として、これまで毎月
二回研究会を重ねてきたが、昨年の暮れ、会の代
表の田村照視氏が軽い脳梗塞で倒れ、歩くことが
少しばかり不自由になり、会への参加・代表を務
められなくなった。

今後、会は、参加者たちとの合議制を以て運営
していこうということになり、名称も改めて「朗
読表現・ぼえむの森」とすることになった。

場所と時間・ココプラザ 14時〜17時

第1火曜日…定例会高丸もと子・内部恵子の朗読
指導の下で「ことばあそび」等を教材に使って
詩の朗読を楽しむ。

第3火曜日…自由参加にして、朗読イベントの詩
や自作詩の朗読等

今年の「朗読イベント」(日時は未定)は、「山
村暮鳥」の詩を取り上げることになった。

新しく朗読を始めようとする方の参加をここ
から待っています。

ただ、3月は新型コロナウイルス騒動で会合は
行いませんでした。4月以降の情勢は流動的だす
連絡先・吉田定一

☎080(5008)2515